慣用句(中級)プリント19

月　日　名前 _____

問1　「首をつっこむ」の意味はどれですか？

1. 他人の秘密を暴こうとして探りを入れる
2. 危険な場所へあえて足を踏み入れる
3. ある物事に関係を持ったり、関与したりする
4. 自分の考えを無理やり相手に押しつける

問2　「腰が重い」の意味はどれですか？

1. 物事に対して意欲的でなく、なかなか行動に取りかかろうとしない
2. 自分の立場を低くして、相手に対して謙虚な態度をとる
3. 物事の判断が遅く、決断を下すまでに時間がかかる
4. 重い荷物を持っていて、体が思うように動かせない

問3　その映画は私の（　）線に触れた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 弦
2. 音
3. 心
4. 琴

問4　「筆を執る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 習字の授業で、筆を執って洗った。
2. 作家が新しい小説のために筆を執る。
3. 筆を執って、机の引き出しにしまった。
4. 重い筆を執って、床に落としてしまった。

問5　「根に持つ」の意味はどれですか？

1. いつまでも恨みや不満を忘れないでいる
2. 一度決めたことを最後までやり遂げる
3. 相手の欠点を厳しく指摘して責める
4. 物事の根本的な原因をしっかりと把握する

問6　「手玉に取る」の意味はどれですか？

1. 相手を自分の味方にする
2. 相手をからかって笑わせる
3. 相手を思い通りに操る
4. 相手を力ずくで負かす

問7　「図星を指す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 答えがまったく外れて、図星を指してしまった。
2. 夜空を見上げて、図星を指して星座を教えた。
3. 本当はくやしいのだろうと、姉に図星を指された。
4. 道に迷ったので、地図の図星を指して道をたずねた。

問8　犯人の（　）をつけて捜査を開始した。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 目星
2. 口元
3. 鼻筋
4. 耳打ち

問9　「耳に入れる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. イヤホンを耳に入れると音楽が聞こえる。
2. 新しい情報を早めに耳に入れる。
3. 耳に入れるほど、大きな声で叫んだ。
4. 耳に入れると、かゆいのでかいてしまう。

問10　「腰を上げる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 腰を上げたので、ズボンのベルトをきつくしめた。
2. あまりのこわさに腰を上げて、その場にすわりこんだ。
3. 腰を上げて、一日中ソファーでごろごろしていた。
4. 夏休みの終わりが近づき、兄はようやく宿題に腰を上げた。

問11　「鼻持ちならない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. いつも自分の成績ばかり自慢する彼は、鼻持ちならない。
2. 風邪をひいて鼻が詰まり、鼻持ちならない状態だ。
3. 鼻持ちならないので、ハンカチで鼻をかんだ。
4. 鼻持ちならないほど、花の良い香りが漂っている。

問12　「腹に据えかねる」の意味はどれですか？

1. 相手の考えを深く理解して、納得する
2. 秘密を抱えていて、落ち着かない気持ちになる
3. 怒りを抑えることができず、我慢の限界に達する
4. おなかが空いていて、何も手につかない

問13　「足元を見る」の意味はどれですか？

1. 相手の失敗を笑う
2. 自分の立ち位置を確認する
3. 相手の歩き方を観察する
4. 相手の弱みにつけ込む

問14　美しい景色に（　）を奪われた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 耳
2. 心
3. 足
4. 手

問15　彼の自慢話は、どうも（　）につく。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 手
2. 鼻
3. 目
4. 口

問16　会議で彼が（　）を切った。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 目
3. 口
4. 耳

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(中級)プリント19　答え合わせ・解説

問1　答え 3　ある物事に関係を持ったり、関与したりする
「首をつっこむ」は「ある物事に関係を持ったり、関与したりする」という意味です。

問2　答え 1　物事に対して意欲的でなく、なかなか行動に取りかかろうとしない
「腰が重い」は「物事に対して意欲的でなく、なかなか行動に取りかかろうとしない」という意味です。

問3　答え 4　琴
「琴線に触れる」の「琴」の部分が入ります。 意味は「良いものや感動的なものに触れて心が動かされる」です。

問4　答え 2　作家が新しい小説のために筆を執る。
「筆を執る」の正しい使い方は「作家が新しい小説のために筆を執る。」です。 意味は「文章を書いたり絵を描いたりし始める」です。

問5　答え 1　いつまでも恨みや不満を忘れないでいる
「根に持つ」は「いつまでも恨みや不満を忘れないでいる」という意味です。

問6　答え 3　相手を思い通りに操る
「手玉に取る」は「相手を思い通りに操る」という意味です。

問7　答え 3　本当はくやしいのだろうと、姉に図星を指された。
「図星を指す」の正しい使い方は「本当はくやしいのだろうと、姉に図星を指された。」です。 意味は「相手の考えや隠していることを、ぴたりと言い当てる」です。

問8　答え 1　目星
「目星をつける」の「目星」の部分が入ります。 意味は「だいたいの見当をつけて、目標を定める」です。

問9　答え 2　新しい情報を早めに耳に入れる。
「耳に入れる」の正しい使い方は「新しい情報を早めに耳に入れる。」です。 意味は「情報を聞いたり、知らせたりする」です。

問10　答え 4　夏休みの終わりが近づき、兄はようやく宿題に腰を上げた。
「腰を上げる」の正しい使い方は「夏休みの終わりが近づき、兄はようやく宿題に腰を上げた。」です。 意味は「やっと物事に取りかかる。行動を始める」です。

問11　答え 1　いつも自分の成績ばかり自慢する彼は、鼻持ちならない。
「鼻持ちならない」の正しい使い方は「いつも自分の成績ばかり自慢する彼は、鼻持ちならない。」です。 意味は「相手の言動が自慢たらしく、我慢できないこと」です。

問12　答え 3　怒りを抑えることができず、我慢の限界に達する
「腹に据えかねる」は「怒りを抑えることができず、我慢の限界に達する」という意味です。

問13　答え 4　相手の弱みにつけ込む
「足元を見る」は「相手の弱みにつけ込む」という意味です。

問14　答え 2　心
「心を奪われる」の「心」の部分が入ります。 意味は「あるものに強くひきつけられ、夢中になる」です。

問15　答え 2　鼻
「鼻につく」の「鼻」の部分が入ります。 意味は「相手の言動が嫌味で不快に感じられる」です。

問16　答え 3　口
「口を切る」の「口」の部分が入ります。 意味は「話し合いなどで、最初に発言する」です。